



1944年
ワルシャワ
蜂起

WARSAW RISING
1944

企画展 「ワルシャワ。 灰の中から甦る不死鳥」

2024年11月3日(日)～2025年2月24日(月)

会場:人道の港 敦賀ムゼウム 企画展示室(2F)

主催:ワルシャワ蜂起博物館 ワルシャワ市 アダム・ミツキェヴィチ・インスティチュート

共催:人道の港 敦賀ムゼウム

パートナー:ポーランド広報文化センター ポーランド共和国外務省



人道の港
敦賀ムゼウム



914-0072 福井県敦賀市金ヶ崎町23-1
TEL. 0770-37-1035

開館時間 9:00～17:00 (入館は閉館30分前まで)
休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12月30日～1月2日)
入館料 大人:500円 小学生以下:300円
(20名以上の団体は2割引)
障がい者及び介護者1名・4歳未満:無料

主催

ワルシャワ蜂起博物館

ワルシャワ市

アダム・ミツキェヴィチ・
インスティチュート



Co-financed by the Minister of Culture
and National Heritage
of the Republic of Poland



パートナー

ポーランド広報文化センター(東京)

ポーランド共和国外務省





1944年 ワルシャワ 蜂起

WARSAW RISING

1944

「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」

ドイツとソ連によるポーランド侵攻から始まった第二次世界大戦。ナチス・ドイツの政策によるポーランド人への迫害、虐殺、拷問…。そのような状況において、ついにポーランド人たちは立ち上がりました。1944年8月1日17時、ポーランドの首都ワルシャワで蜂起が決行されたのです(ワルシャワ蜂起)。武器が不足し、連合国の支援もほとんどない圧倒的に不利な中、ドイツの占領軍に対し、女性や若者を含む蜂起軍が勇敢に立ち向かっていきました。ヒトラーは、蜂起軍の弾圧とワルシャワの徹底破壊を命じ、多くのワルシャワ市民が絶滅計画の犠牲となり、処刑されました。それでも、蜂起軍は熱い想いを胸に、最後までドイツ軍と戦うことをやめませんでした。しかし、同年10月2日、蜂起軍は降伏。63日に及んだ決死の抵抗は、無惨な結果に終わります。ポーランド人の犠牲者は15万人にのぼるともいわれ、美しかったワルシャワの街はドイツ軍により破壊し尽くされました。そして、翌1945年、第2次世界大戦が終結したのです。

廃墟と化したワルシャワですが、戦後、ポーランド人たちによって、戦前の写真や絵などを参考に旧市街が忠実に復元され、現在「ワルシャワ歴史地区」として世界遺産に登録されています。

本展は、忘れてはならない戦争の歴史とともに、廃墟から立ち上がり、近代的でダイナミックな都市となったワルシャワの復興がテーマとなっています。CGで再現した廃墟の街の映像も必見です。



写真：ワルシャワ蜂起映像のカラーフレーム
(反乱軍のニュースフィルムから作成)、ワルシャワ蜂起博物館所蔵



廃墟の街